



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 12. 3

下水道機構の『新技術情報』 第70号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



私の住むエリアでは、昨夜は「雨が雪に変わるかも」という予報だったので、夜中に目覚ましをセットして庭に出てみましたが、残念ながら雪ではありませんでした。南国生まれの者にとって雪はワクワクしてしまいます♪

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第70号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・12月13日(木)の技術サロンは「JSにおける技術開発の取り組み」をテーマに藤本技術開発審議役をお迎えして開催します
- ・11月30日(金)に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第3号を発行しました
- ・11月16日(金)に平成24年度第二回新技術設計手法等共同研究委員会が開催され、「大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する共同研究」についての審議が行われました
- ・11月15日(木)および16日(金)の2日間にわたって、第45回下水道技術開発連絡会議が相模原市で開催されました

★機構の動き

- ・今週は、12月4日(火)に技術委員会が開催されます

★Tea Break

- ・携帯ですか？スマホですか？（ぺんねーむ アナログおじさんからの投稿です）

★【新コーナー♪】まる子のゆいまーる

- ・今回は、東京都内の紅葉の様子をお届けします！

★国からの情報

- ・11月30日付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●12月の技術サロンは「JSにおける技術開発の取り組み」をテーマに藤本技術開発審議役をお迎えして開催します！

今月12月の技術サロンは、13日木曜日17:00~18:00、機構（江戸川橋）会議室にて開催します。今回のゲストは、日本下水道事業団技術開発審議役の藤本 裕之様。テーマは、「JSにおける技術開発の取り組み」です。JSでは今年度、第3次技術開発基本計画を策定されました。どのような技術開発を目指しておられるのか等、最新の取り組みをご講演いただく予定です。

参加費は無料、当機構のホームページよりお申し込みできます。出張帰りなど当日参加も歓迎いたしますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-310.htm>

●Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第 3 号を発行しました。

先週金曜日（11 月 30 日）に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第 3 号を発行しました。

パソコンの設定等によっては、ご覧いただけない場合があります。この場合は、お手数をおかけしますが、次のアドレスにアクセスをしてご覧ください。

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/index.html>

●11 月 16 日に平成 24 年度第二回新技術設計手法等共同研究委員会が開催され、「大規模災害に対する早期機能回復のための情報システムのあり方と構築方法に関する共同研究」についての審議が行われました。本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、(株)明電舎、メタウォーター(株)、三菱電機(株)と当機構の 6 者で実施している共同研究で、今後大規模災害が起きた際に、情報を活用することで下水道の早期機能回復を計る手法について検討を行います。

今回は、早期機能回復に必要な情報及びシステムのあり方について、被災地へのヒアリングを踏まえて検討した結果を報告し、活発な議論を行いました。

今後、別の被災地に加え支援側のヒアリングを行い、実用的なシステムについての検討を行い、次回本年度最後の委員会に報告する予定です。

●11 月 15 日(木)および 16 日(金)の 2 日間にわたって、第 45 回下水道技術開発連絡会議が相模原市で開催されました

下水道技術開発連絡会議とは、政令市 21 都市および財団法人下水道新技術推進機構の 22 者にて、新技術に関する情報共有や意見交換を行うことを目的に発足した会議であり、各都市が抱える課題点や開発した新技術に関する意見交換や、共同で研究すべきテーマに関する審議を行っております。

平成 23 年度および 24 年度の 2 か年は、下記の 3 つの分科会を設置し、共同で研究を実施しています。

A 分科会：浸水対策事業の効率化に関する調査研究

B 分科会：管路施設等における調査および改築更新手法に関する調査研究

C 分科会：下水道資源の有効利用に関する調査研究

本会では、上記分科会研究に関する審議のほか、平成 25 年度以降の研究テーマの選定を中心に、各都市が抱えている課題点等について意見交換がなされました。

今年度は平成 25 年 3 月に第 46 回下水道技術開発連絡会議を予定しており、各分科会研究の最終成果が審議される予定です。

機構の動き （機構の行事予定です）

●平成 24 年 12 月 4 日(火) 13:30~16:30

平成 24 年度第 2 回技術委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

議案：各委員会の調査研究報告についての審議等

●平成 24 年 12 月 6 日(木) 13:30~17:20

平成 24 年度第 3 回第 5 審査証明委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

議案：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議
および質疑応答

●平成 24 年 12 月 11 日(火) 14:30~17:00

平成 24 年度第 3 回第 1 審査証明委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

案件：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議
および質疑応答

●平成 24 年 12 月 12 日(水) 15:00~17:30

平成 24 年度第 3 回第 2 審査証明委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

議案：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議
および質疑応答

●平成 24 年 12 月 13 日(木) 17:00~18:00

第 310 回技術サロン、場所：下水道機構 8 階会議室

ゲスト：日本下水道事業団 技術戦略部技術開発審議役 国際室長 藤本裕之氏、

テーマ：J S における技術開発の取り組みについて

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-310.htm>

●平成 24 年 12 月 14 日(金) 14:00~17:00

平成 24 年度第 3 回第 4 審査証明委員会、場所：下水道機構 8 階特別会議室

議案：平成 24 年度 建設技術審査証明（下水道技術）の各依頼技術の報告書の審議
および質疑応答

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●携帯ですか？スマホですか？（ぺんねーむ アナログおじさんからの投稿です）

かつては携帯を耳に当てながら歩いている人、片手で自転車に乗りながら通話している姿を多く見かけました。自動車では事故が多発したことから、運転中の通話は禁止されました。最近では携帯からスマートフォンに変わりつつあります。

通勤電車の中で携帯をいじっていた人もかつてはメールをしていた人が多かったようですがスマホ によってからは何をしているのでしょうか？新聞記事か電子書籍を読んでいるのでしょうか？はたまたゲームを楽しんでいるのでしょうか？電車の乗り降りの時その前後も目を離しません。横断歩道を渡るときもスマホ を覗いています。自転車では画面を見ながら乗りこなしています。

一秒を争うような大事な情報を得ているのでしょうか？傍で見ていると事故が起きないかと心配です。スマホ症候群で首の痛み、肩こりを訴える「ストレートネック」になる女性が多いそうです。スマホ中毒に気をつけなければ。

(素早い避難の確保を後押しする観点する観点から実施され、集中復興期間中に完了するもの)のみに限定して復興特別会計に計上するとされました。

また、あわせてこれまでに措置された復興関連予算の一部執行停止が盛り込まれていますが、下水道関係(社会資本整備総合交付金)は執行停止対象から外れていません。

<http://www.reconstruction.go.jp/topics/241127.html>

○平成24年度予備費使用(第2弾)について【下水道事業課】

総理指示(11月16日)に基づく経済対策の第2弾として、経済危機対応・地域活性化予備費等の活用が、11月30日に閣議決定されました。

国土交通省関係では、

1. 大規模災害に備えた防災・減災対策として、河川等の緊急風水害・土砂災害対策及び道路・港湾の緊急老朽化対策等に必要な経費(国費:180億円)

2. 「日本再生戦略」における施策の実現前倒しとして、通学路の緊急合同点検結果に基づく緊急対策及び国際競争力強化や防災・減災等に資する社会資本整備総合交付金に必要な経費(国費:326億円)

が計上されています。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_000350.html

●21世紀水倶楽部連続研究集会の開催について【NPO21世紀水倶楽部】

排水設備は、下水道管理者である地方公共団体の管理・監督がなかなか及ばず、適切な管理が確認しづらい状況にあります。これまで、不適切な設置管理で硫化水素が発生し、コンクリートが腐食したり、雨水管と污水管の誤接合などの問題がありました。そこで21世紀水倶楽部では、排水設備に焦点を当て、管理の現状や問題を洗い出し、今後の対策や課題解決のための方向性について議論する目的で、研究集会を開催します。

3月には取り付け管の研究集会を考えていて、連続企画の一弾になります。

テーマ:研究集会「排水設備の今日的課題」

・日時:平成25年1月30日(水)13:30~17:00

・会場:(財)下水道新技術推進機構8階中会議室

・プログラム:

(1)日本における排水設備の管理

(公社)日本下水道協会 企画調査部経営調査課課長補佐 棚橋 博行 氏

(2)下水道システムとしての排水設備の問題点 下水道アドバイザー 成原 富士郎 氏

(3)マンション排水設備の変遷と管理における課題

(一社)日本建築設備診断機構 専務理事/(株)ジェス 代表取締役 安孫子 義彦 氏

(4)全体討議

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

★図書のご案内☆

■丹保憲仁先生著『水の危機をどう救うか』(PHP研究所)

安全に飲用水を利用できない人が、世界には9億人存在する。まして世界人口が100億人に達する未来、洗濯や庭の水やりにまで飲用可能水を使うことは難しくなる。

本書では環境工学の碩学が、ローマやロンドン、さらに江戸・東京の水道開発の苦闘の歴史をひもときながら、「環境湖」を設け膜技術で水を再生する「水環境区」のシステムを提唱。そのモデルとなる、水資源に乏しいシンガポールや西安（中国）での実践例も紹介する。（HP↓より引用）

<http://www.php.co.jp/books/detail.php?isbn=978-4-569-80925-0>

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

- 公開講演会「下水道の価値を考える」の開催について【東京下水道設備協会】
(12月7日開催)

http://setubikyo.or.jp/main/H24_kouenb.pdf

→11月26日掲載

- 「京都大学-清華大学 第4回深セン GCOE・EML シンポジウム」の開催について【京都大学日中センター（中国・深セン）】
(12月14～15日開催)

参加希望の場合は、京都大学日中センター（中国・深セン）の岡本まで

okamoto.seiichiro.8s@kyoto-u.ac.jp

→11月16日掲載

- 国総研講演会開催について【国土技術政策総合研究所】
(12月4日開催)

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kouenkai/kouenkai2012/kouenkai2012.htm>

→11月8日掲載

- 「平成24年度第1回 地震・津波に関するシンポジウム～東海・東南海地震・津波にどうむかいあうべきか～」【全国上下水道コンサルタント協会】
(12月20日開催)

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

→11月8日掲載

=====

【参考情報】

◆水処理技術に商機 自給困難なシンガポール、日本企業の進出加速 三菱レイヨン、政府と共同で実証試験 <11/26 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/news/20121126dde001020014000c.html>

◆安川電、「余剰汚泥減量化装置」を開発—微生物で水・CO₂に生分解 <11/26 日刊工業新聞>

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0520121126aaai.html>

◆年末年始の宿泊 檜葉町は「困難」 除染半ば、下水道使えず <11/27 福島民報>

<http://www.minpo.jp/news/detail/201211275114>

◆和田川浸水対策で雨水貯留管 <11/27 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/wakayama/news/20121126-OYT8T01391.htm>

◆巨大地震想定 広範囲で津波浸水 大分 <11/29 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/oita/news/20121128-OYT8T01493.htm>

◆行橋市の浄化槽清掃問題:汚泥濃縮で負担減 市が検討、清掃率回復目指し /福岡 <11/29 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20121129ddlk40010367000c.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■